

委員意見等及び市の考え方・今後の対応について

区分	委員所属・氏名		意見等	市の考え方・今後の対応等
部会 の 設 置 ・ 運 営 に 対 す る 意 見	松江NPOネットワーク	竹田 尚子委員	重点項目について集中的に議論するための部会設置とてもよいと思います。「若者・女性がもっと暮らしやすいまち」を目指す中で、以下のことも軽視されることのないようお願いします。 ・6月末、市内約300の市民活動団体を対象にコロナ影響調査を実施し、7月10日に調査結果を松江市に報告しました。 (調査結果の公開内容については、担当課の方で検討中) 調査によって、本市において市民による豊かで多様な活動が大変活発に行われていること、そして、それらの活動が市民の心身の健康や生き甲斐、文化的生活、助け合いや人と人の温かなつながりの維持に貢献していることが改めて示されました。高齢者・子ども・障がい児者・子育て家庭などを支える市民のネットワークや、福祉、教育、環境、文化、スポーツ、まちづくりなどに関わる、経済とは異なる視点からの非営利セクターの活動は、「暮らしやすい松江」にとって必要不可欠なものです。部会メンバーの皆さまには、人口増には直結せずとも市民生活を確かに支えている市民活動をご理解の上、議論を進めていただきますようお願いいたします。	総合計画・総合戦略の基本理念に共創・協働を掲げておりますとおり、市民活動に取り組まれている皆様のお力も地方創生の推進にとって不可欠なものであると考えております。 今後、必要に応じて委員の皆様からご意見を伺う場合や、部会での議論をまとめたうえで委員の皆様から意見等の補強をいただく予定としていますので、変わらず、ご理解ご協力をお願いします。
	松江市21世紀ウィメンズプロジェクト	長野 友子委員	新型コロナウイルスの影響で若者の価値観や考え方にもパラダイムシフトが起きていると思う。可能であれば大学生や高校生を若者代表として構成員に加え生身の声を聞いてはどうでしょうか？もしくは部会で適宜若者からの意見交換の場を設けてはどうでしょうか？	本部会の進捗状況を踏まえ、大学生や高校生へのヒアリングや意見交換の場の設置等を検討してまいります。
	社会福祉協議会	湯浅 佳代委員	重点項目「若者・女性がもっと暮らしやすいまち」の実現に向けて、部会を設置し、集中的に議論されることに賛成いたします。 委員の皆様も各分野から選任されており、短期間で地方創生に関する事業をまとめられるのは大変なことと思いますが、よろしくお願い致します。	今後、必要に応じて委員の皆様からご意見を伺う場合や、部会での議論をまとめたうえで委員の皆様から意見等の補強をいただく予定としていますので、変わらず、ご理解ご協力をお願いします。
	連合島根松江隠岐地域協議会	岸本 武士委員	「若者・女性がもっと暮らしやすいまち」の実現ということであれば、「働き方」という観点も重要なファクターであり、そこを押さえる意味でも、「産・官・学・金・労・言」で「労」だけ抜けている点からも、「労働団体」からの委員も必要ではないか。	今後、必要に応じて委員の皆様からご意見を伺う場合や、部会での議論をまとめたうえで委員の皆様から意見等の補強をいただく予定としていますので、変わらず、ご理解ご協力をお願いします。

区分	委員所属・氏名		意見等	市の考え方・今後の対応等
各種施策に対する意見	松江体育協会	安部 隆委員	<p>総合計画・総合戦略の内容は市のHPで閲覧できますが、市民や本市に関心のある一般の皆さんに広く周知されているとは思えません。</p> <p>できれば映像メディアで解説するコンテンツを作成して、テレビやネットで情報提供していただきたいと思います。</p> <p>また、難しい専門用語や活字主体の資料ではイメージが膨らまないため、計画を推進していくと現在の市民生活が将来どう変わっていくのか、ドキュメンタリードラマ仕立てにして配信しても面白いと思います。</p>	<p>本市の将来像「選ばれるまち松江」の実現に向けて市民の皆様と共に取り組むためには、学校や地域へ出向き、市民の皆様と対話をしながら互いに理解を深めることが大切であると考え、出前講座等を通じて周知を図っているところです。</p> <p>一方で、Youtubeに松江市公式チャンネルを開設し、「松江市子育て世代へのPR動画」やシティプロモーション「LOVE CITY松江」などの動画を作成して、若者や本市に関心を持っていただく方へ本市の施策やまちの良さをPRしています。</p> <p>目的や対象者に応じて、より効果的な手法により情報発信を行ってまいります。</p>
	松江市医師会	泉 明夫委員	<p>・働きながら不妊治療を受ける方に対する職場の支援について</p> <p>不妊治療に対する支援について、松江市では補助金の制度があるが、働きながら不妊治療を受ける方にとっては、職場の支援も重要である。</p> <p>出生率の向上につながる不妊治療を受けやすくするため、次のような支援の仕組み作りを検討いただきたい。</p> <p>不妊治療の通院のための休暇を取りやすくする 不妊治療を受けていることを職場が理解しサポートする (不当な扱いを受けないようにする)</p>	<p>現在、松江市では、保険適用の一般不妊治療・検査の自己負担金及び人工授精にかかる費用に対し助成する「松江市一般不妊治療費等助成制度」を設けており、令和元年度は、218組（夫婦）、延べ245件の交付実績となっています。</p> <p>仕事と不妊治療の両立支援のために、健康づくり活動に取り組む企業等で構成される「健康まつえ応援団」への啓発や松江保健所が主催する「事業主セミナー」での周知等を行い、不妊治療に関する理解とサポートが得られるよう、広く事業所へ働きかけてまいります。</p>
	松江圏域老人福祉施設協議会	武部 幸一郎委員	<p>基本目標4-① 地域と連携した介護予防の推進について</p> <p>なごやか寄合事業等の担い手に大学生等の学生によるフィールドワークを通して参加させつつ、地域の社会福祉法人等が運営のサポートする事業の立ち上げについて検討をお願いします</p> <p>→包括的支援展開が可能な専門人材育成の一環として</p> <p>大学等で福祉・介護を専攻する学生を主とした対象とする ※地域の課題解決に積極的な関与（アウトリーチ）、卒論対応</p> <p>→関係人口の創出、みんなで支え合う福祉のまちづくり人材の育成 世代間交流、継続的なフィールドワークによる地域福祉の担い手確保、</p> <p>→福祉のお仕事、まちづくりに関するお仕事を志す学生に魅力的な環境整備 広報戦略に加え積極的に発信</p> <p>その他 広報戦略について（福祉・介護を含む人材確保について） 学生のUターン促進、関係人口の創出は大変重要と考えます。学生やUターンを考えている方々に対して効果的に情報発信やPRするためには、効果的な魅せ方が必要です。広報戦略の策定・実施には広告代理店など専門家の配置も検討ください。</p> <p>中でも福祉・介護人材の確保は喫緊の課題です。松江市介護人材確保検討会議で検討中の事業として県外の大学等に向けた福祉・介護のお仕事の魅力を発信する事業の検討を進めておりますが、下記について広報の専門家も交えた広報戦略について予算化（十分な予算）を検討ください。</p> <p>→出前講座の企画・実施、動画や魅力的な人物を紹介するコンテンツの制作 ※みんなが社会福祉HERO'S参考</p> <p>→松江ファンクラブアプリ内に福祉のお仕事の魅力発信コンテンツの追加 課題：コロナの情報、災害の情報なども通知されることを敬遠する？</p>	<p>現在、第8期介護保険事業計画の策定を進めており、「なごやか寄合活動支援事業」については、介護予防・重度化防止の効果的な取組の一つとして位置付けているところです。</p> <p>学生がなごやか寄合事業などの地域活動に参加することは、担い手不足の解消だけでなく、地域への愛着を深め、定着に繋がることも期待できます。</p> <p>ご提案の事業については、大学等の関係機関と協議しながら、検討してまいります。</p> <p>介護分野における中長期的な人材確保策を検討するため、介護事業所や介護人材の養成学校、支援機関で構成する介護人材確保検討会議を開催し、各種施策を展開しています。引き続き、介護業界のPR・魅力発信に取り組んでまいります。</p> <p>また、本市では、市の魅力を発信し関係人口、定住人口の増加を図るため、シティプロモーションに力を入れており、令和元年度からアドバイザー会議を開催し、実態に即した柔軟な広報手段等について各方面から助言をいただいています。今後、福祉・介護分野とも連携しながら、若者の定着、関係人口の創出に取り組んでまいります。</p>